



コミュニティ・スクールだより

令和5年度 No.34 東温市立上林小学校

1月31日 第5回学校運営協議会&学校関係者評価委員会 熟議「今年度の反省と次年度の計画について」 ～貴重な御意見をありがとうございました～(一部抜粋)

生徒指導について

- コロナの5類への移行により、様々な方々と接する機会が増え、子どもたちの挨拶する姿をよく目にしますが、気持ちの良い挨拶ができていているように思われます。言葉遣いについても良いと思います。今後も地道な指導をお願いします。

学習指導について

- 少人数学習の特性を生かし、きめ細やかな指導が出来ている。
- 今年度は、体験学習については地元の方々の協力のもと様々な取組をされ充実した体験学習が行われたと思います。先生方には、準備等大変であったと思いますが来年度も積極的な取組をお願いします。

豊かな心、健やかな体を育てる教育について

- 少人数ならではの仲間づくり、集団づくりが良く出来ており、チーム上林小の感じがする。
- 人権教育にも熱心に取り組まれておられ、少ないながらもよい人間関係づくりができていていると思います。
- 食育について、例年の米作り・さつまいも作りに加え「星の郷」の見学やごはん作り等、有意義な教育ができたように思われます。子どもが興味を示したことへの取組を今後も広げていってください。

安全・安心な教育環境の整備について

- 登校時は集団登校となるのでさほどではありませんが、下校時はどうしても一人で下校する児童を見受けます。地域の方々の見守りが重要だと思しますのでことある機会に取り上げててください。
- 近い将来来るであろう南海トラフ地震を想定した備えも必要かと思います。

家庭・地域との連携について

- コロナの5類への移行により地域の人材を活用した様々な取組が行われ、その取組の様子がコミスク便りにより地域へ発信され、地域の方々の小学校への関心が高まっています。児童数が減少してもこのような発信を行っていけば地域との連携は保たれると思います。
- 地域の一員として、コミスク便りをとても楽しみにしています。年寄りも多いので紙での配布はありがたいです。
- 今年度は、秋祭りに子どもたちが参加できる子どもみこしや獅子舞(お菓子まき)が充実されていて非常に良かった。また、運動会も地域合同で実施できて良かった。



特色ある学校づくりについて

- 豊かな自然に恵まれ、生徒は田植え・稲刈り・餅つき体験や祭りへの参加等、年間を通じていろいろな経験を得て成長している。コンクリートに埋もれた大都会の子どもには得難い貴重な6年間だ。
- 米作り・芋作りは例年話題になっていますが野菜作りはあまり聞きません。地域のお年寄りの方に協力をいただき無理のない程度（時期に）で何か取り組めないでしょうか。

施設・設備の充実について

- タブレット、SNSなどの安全教室を開催し、使用責任を充実させている。
- 大型ディスプレイ等を使った授業は分かりやすく、より効果的と思われる。

その他

- 上林小では地域の名所とそれにまつわる逸話や先人の功績等を教職員と児童が協力して調査・編纂し冊子にまとめられました（R5年3月）。自身知らないことやぼんやり記憶があるような事柄を文字に記した将来にわたる貴重な資料です。改めまして、その御努力に感謝申し上げます。

運動会について

- 小学校と地域との合同による秋季大運動会が4年振りに実施できたことは、特に公民館の存在が大きい。公民館の役員は、競技種目の選定から選手集め、競技に必要な用具等の準備、各種目の出場者全員の記念品の調達と配布、膨大な業務を担っている。しかも公民館は任期1年なので、毎年新人である。今後とも、小学校・区会・公民館（組長）・PTAがよく連携し協力し合って、推進していく必要がある。この団体の中には、学校運営協議会の委員も何人か含まれている。両者の意思疎通は十分に図れている。今年度の秋季大運動会は従来の9月下旬から10月下旬へと変更された。好天にも恵まれたが、残暑が強く残る9月下旬とは違い、すがすがしいなかでの気持ちの良い運動会となった。
- 今年度のような形で実施できたのでよいと思う。可能なら、中・高生も参加できるというのかもしれない。

稲作・もちつき大会について

- 米作りや餅つき大会は恒例となってきた。今年度は保全会による稲作の勉強会も実施された。また、ふるさとめぐりは、昨年実施した上林の名所や前人の調査が元になっている。特に、教職員の前向きな努力がいい形となって、いろいろな面に表出している。
- 今後も地域の人材を十分に活用し様々な取組を実施することにより地域に愛着を持ち将来地域に残ってくれる児童がいれば喜ばしい。
- ふるさとめぐりが充実していたことがすばらしいと思います。地域を愛する子どもの育成にとって大切だと思います。

学芸会について

- 伝統芸能だけでなく、地域の一芸に秀でた方等がいらっしゃれば参加をお願いしてみてもどうか。地域外でも児童に夢や希望を与えられる方。（運動会でお世話になっている聖陵高校のダンス部に可能であればお願いするのもよいのでは。）
- 上林小学校の特徴のひとつである学芸会は、わずか19名の生徒でいろいろな演目が予定されており、今年も楽しみである。難点は少しの寒さだけである。

その他

- 一年間を通して様々な地域行事等について、諸事情はあると思いますがPTA（役員のみならず保護者）の参加が極めて少ないように思います。地域行事（準備や片付けを含む）に積極的に参加していただきたい。そうすることにより地域の方々とのつながりもでき今以上の協力も得られると思います。
- コロナ前は、地域やPTAとのつながりが強く、イベントが多く良い面と、先生方に負担が大きいという悪い面もあると思います。コロナにより、良くも悪くもそれらを見直す良い機会となっていますので、良いものは残し、悪いもの（負担が大きいもの）は改善していけたらと思います。

ありがとう
ございました